

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和5年3月27日

事業所名：フレンズポートふなおか

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			指導訓練室は66.4㎡あります。また相談室と事務室も児童の利用時間中は活動場所として開放しています。さらに、児童の要望に応じて屋外活動(施設敷地内外)も積極的に実施しています。 当事業所はお子さま各々の「ここで、これをしたい」という気持ちを尊重しており、支援者は安全性を担保しながら可能な限り「(お気に入りの場で)気持ち穏やかに過ごす中で、様々な学びを獲得していただく」という支援方針のもと対応しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			常勤で児童発達支援管理責任者1名・保育士1名 非常勤で児童指導員4名を配置しております。基本的に平日の開所日には職員のほぼ全員が出勤しております。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			安全点検を定期的(月1回)に実施しており、その際にもご利用のお子様皆様が過ごしやすく活動しやすい環境という視点でも点検し随時整備しております。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			日々の支援内容・業務に関しては、幅広く意見を集め、支援会議等の場も活用しながら、より良い支援の在り方に向かってスタッフ全員で取り組んでいます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			今年度においてもアンケートの実施でいただいたご意見を令和5年3月27日にHPにて公表するとともに、その内容を事業所全体で周知し、今後の業務改善につなげてまいります。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			令和5年3月27日にHPにて公開します。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	現在、第三者機関による外部評価は実施しておりません。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			県や市(基幹相談支援事業所・圏域地域相談支援センター)による虐待防止・発達支援について・発達障害への理解…等の外部研修を毎年受講することで得た学びを、全職員への周知含め支援現場に反映しながら事業所運営しております。また内部においても当事業所の運営組合による感染予防関連などの研修が定期的開催され、スタッフ全員が参加し日々の支援に活かしております。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			事業所独自のアセスメント表を使用し、保護者様・お子様へのニーズや課題の聞き取りを行っております。そうして得た情報をもとにお子様の将来を意識して今のうちに身に付けていたいこと・のばしたい力を長期・短期目標に反映しつつも、到達度などは今のお子様の様子に合わせた計画を作成するようにしています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	標準化されたアセスメントツールの使用はできておりません。現状の支援において、さらに個々の特性や能力にあった支援を展開していけるよう、今後は標準化されたアセスメントツールの導入方法を模索してまいります。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			対象のお子様それぞれについて発達支援としての効果的な実施方法や、また負荷になりすぎないように等、現在における状況を児童発達支援管理責任者・保育士・児童指導員の全員で検討・判断し活動プログラムを計画するようにしています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			発達支援環境下では、お子様たちにはできるだけフリーな気持ちで活動できるよう支援者は心がけています。日々それぞれのお子様が好きなお活動をみつけ、やりたい活動をそれぞれがお子様ご自身で選択し、学びを得ることを基本的なプログラムとしつつ、支援者はアプローチの中でそこに少しずつ変化を提供し固定化を防ぎお子様の対応力等の成長を促してゆくことを大切にしています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか			○	それぞれの開所日に応じて、支援の展開、プログラムの工夫を行っております。細やかに課題の設定をしつつ「お子様が自発的にいかに興味を示されるか」ということにも重点をおいているのでお子様自身がいろんな活動からどれかを選択して取り組んでいただく「お子様の主体性を引き出す」ということにも支援の重点を置いています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動への着眼のなかには、集団活動での様子（社会性の部分など）を含ませるようにし計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には必ず職員間で打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			利用児童についての情報や職員の動向の把握は日々のミーティングにて確認しています。行事などが予定されている際は、役割分担や諸々の留意事項についてもスタッフ全員が確認してから業務にあたっています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等共有しているか	○			その日行われた支援の中で、気づいた点や確認すべき点はその日のうちに共有できるよう支援終了後に時間を設けて行っています。
適切な支援の提供	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			利用時間や支援の提供・内容についてなど、利用実績に関わることについて記録を残しています。また個別ではヒヤリハット・ニコリハットも含めた支援に繋がる記録づくりを意識して取り組んでおり、過去と現在のお子さま各々の様子の確認などに役立っています。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングを実施しています。また様子の変化や発達についてもその都度計画を変更修正する必要の判断が出来るように心掛けています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			当事業所の支援提供についてはすべてガイドラインの内容に沿うよう努めております。
関係者や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が毎回参加しています。
	㉑	学校との情報共通(年間計画・行事予定等)の交換・子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			ご利用児童が通う学校と当事業所が隣接しており、学校との日々のやりとりの中で、問いにあるような随時必要な情報の共有に努めています。また定期的な連絡会(月1回開催)も行われています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は、医療的ケアの必要な児童の受け入れが可能な体制になく、受け入れは実施しておりません。五泉市障がい者総合支援協議会こども部会に参加しており必要性等の動向は把握しております。引き続き障害児通所支援事業所として地域課題に取り組んで行ける方法を模索して参ります。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			就学前に保育所等での様子を見学させていただくとともに、対象児童への理解を深めるための情報共有を積極的に努めています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			事業所で実施していた支援の内容と経過、ご本人への配慮事項など引き継ぎを行っています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			⑧に述べましたが、今年度においても各種専門機関が開催する研修に参加しました。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今年度の外出行事では障がいのお子様とのふれあいがありました。今後においても保護者の意見も参考に、今後、そのような機会を計画し提供していけるかどうか関係機関との連携に努めながら検討してまいります。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			児童発達支援管理責任者が委員として五泉市障がい者総合支援協議会(こども部会)に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			共通理解のもと児童に関わっていけるよう、送迎時には必要に応じて事業所での様子をご家庭での様子の情報共有に努めています。
	㉙	保護者の対応能力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	事業所の掲示等でペアレントトレーニングについてご案内しましたが、これまでのところ、保護者がペアレント・トレーニング等の専門的な支援を受けられたという実績はありません。

保護者への説明責任	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約の際に、丁寧な説明を行うよう心がけています。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談を受けた際には、事業所としての助言を行うと共に、必要に応じて担当の相談支援専門員・関係機関とも連携し対応しています。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、そのような支援は実施しておりませんが、保護者の皆様からのご要望に応じて対応していければと考えております。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情対応の体制を整備しており、ご利用の契約時に説明しております。さらに随時ご利用可能なご意見箱の設置を玄関入口の前に設置しております。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概況や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、事業所での日常活動の様子や行事での様子を記載した「おたより」を発行しています。
	③⑮	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			文書については新潟県中東福祉事務組合の規程に順じて取り扱い、保管を行っています。また、全職員については守秘義務があり、業務上知り得た個人情報についての取り扱いに十分に注意し対応しております。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思疎通、情報伝達の配慮として、視覚的な情報の提示、絵カードや50音ボード、ハンドサインなど非言語でのコミュニケーションの保証、簡潔で具体的な言葉かけなど実施しております。またPECS（絵カード交換式コミュニケーションシステム）については研修を受けさせていただき、その他さまざまなAAC（拡大・代替コミュニケーション）について関心を寄せて支援に取り入れていけるよう取り組んでおります。
③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			これまでは盆踊り大会・さいの神・合同防災訓練は当事業所の運営組合と地域により合同開催しており、この機会には当事業所も参加し交流を図ってきておりました。この頃までコロナウイルス感染防止についてすべて中止されていましたが、再開されたら事業所としてこれまで通りの地域と事業所との関係を築いていけるよう努めてまいります。	

非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを整備し、職員への周知を行っています。保護者へそのマニュアルを周知することまではしていませんが、そのマニュアルに準ずる保護者に必要な情報（感染症対策等）は随時周知しております。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月1回、様々な非常災害を想定した避難訓練を実施しています。また避難だけでなく、訓練用の水消火器を使用した初期消火の訓練も定期的に行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止に関する園内・園外研修に参加するとともに、適切な支援方法について学ぶ勉強会も定期的に行い、スタッフ全員の意識と支援スキルの向上に努めています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		これまで身体拘束を実施したことはありません。なお身体拘束を行う場合については、児童や保護者、主治医の了解を得た上で組織的に決定し、計画にも記載をします。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在、該当する児童の利用はありませんが、今後利用を受け入れる場合には、必ず主治医との連絡体制は整えて対応いたします。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットについては記録にまとめております。さらにその事例一つ一つを随時検証し対策を講じることにより、ヒヤリハットの再発とそこからつながる事故防止に努めております。